

2019年度懸賞論文・文芸作品コンクール

論文鳳賞 樋口さん

「2019年度懸賞論文・文芸作品コンクール」(学生部主催)の表彰式が12月10日、生田キャンパスで行われた。論文部門では最優秀賞に当たる鳳賞を樋口陸さん(商4)が受賞。文芸部門の柘植光彦文学賞に笹森貴哉さん(文2)が選ばれた。入賞者は別表の通り。

懸賞論文部門

鳳賞	樋口 陸(商4)
優秀賞	夏弓(経済3) 石渡 圭吾(商4) 水谷 真奈(人間科学3)
佳作	角倉みどり(人間科学3) 八木 優姫(二部商3)

文芸作品部門

鳳賞	該当なし
柘植光彦文学賞	笹森 貴哉(文2)
優秀賞	西川由香利(文4) 東 由佳理(文3) 奈良 遼馬(文2)
佳作	田中 光(法1) 栗屋 渚(法1) 花城 亜愛(文3) 矢内 有紗(文3)

敬称略

柘植光彦文学賞に笹森さん

本年度は論文部門に20作品、文芸部門に25作品の応募があり両部門で14人が受賞。阿藤正道学生部長から賞状と賞金が贈られた。

論文部門の樋口さんは「お金を対する態度と決済手段の選択の関連性」について論じた。キャッチ

本年度は論文部門に20作品、文芸部門に25作品の応募があり両部門で14人が受賞。阿藤正道学生部長から賞状と賞金が贈られた。

論文部門の樋口さんは「お金を対する態度と決済手段の選択の関連性」について論じた。キャッチ

本年度は論文部門に20作品、文芸部門に25作品の応募があり両部門で14人が受賞。阿藤正道学生部長から賞状と賞金が贈られた。

論文部門の樋口さんは「お金を対する態度と決済手段の選択の関連性」について論じた。キャッチ

本年度は論文部門に20作品、文芸部門に25作品の応募があり両部門で14人が受賞。阿藤正道学生部長から賞状と賞金が贈られた。

論文部門の樋口さんは「お金を対する態度と決済手段の選択の関連性」について論じた。キャッチ

本年度は論文部門に20作品、文芸部門に25作品の応募があり両部門で14人が受賞。阿藤正道学生部長から賞状と賞金が贈られた。

論文部門の樋口さんは「お金を対する態度と決済手段の選択の関連性」について論じた。キャッチ



表彰式で賞状を受け取る論文部門鳳賞の樋口さん



柘植光彦文学賞の笹森さん

本年度は論文部門に20作品、文芸部門に25作品の応募があり両部門で14人が受賞。阿藤正道学生部長から賞状と賞金が贈られた。

論文部門の樋口さんは「お金を対する態度と決済手段の選択の関連性」について論じた。キャッチ

本年度は論文部門に20作品、文芸部門に25作品の応募があり両部門で14人が受賞。阿藤正道学生部長から賞状と賞金が贈られた。

論文部門の樋口さんは「お金を対する態度と決済手段の選択の関連性」について論じた。キャッチ

経済専門科目・学外特別研修

23人が就業体験報告



研修での学びを報告する金丸さん(左)と高嶋さん

経済学部で開講している専門科目「学外特別研修」の発表会が12月14日、生田キャンパスであり、学生23人がインターシップでの研修内容や学びを報告した。

同科目は、外部講師を招いての事前学習の後、夏期休暇中に企業や行政

訪問やイベントの運営、計画書の作成に取り組みだ。「企業を支援する立場に立ったことで、多角的な視点の取り方を体験することができた。企業を知ることで、就職の選択も広がった」と語った。

高嶋南帆さんと金丸恭子さん(ともに2年次)は、業務用厨房機器メーカーのタニコー(東京都)で研修した。高嶋さんは実際に電話対応した際の経験を話し「分からないうことをそのままにせず、その場で聞き返す方が良いと分かった」と話した。

金丸さんは「営業の仕事を知りたかった。営業に同行したことで、仕事を覚えるだけでなく、ビジネスマナーを学ぶことができた」と成果を語った。

津軽三味線と尺八の伴奏に合わせ、歌い上げる伊藤さん(中央)



哲学科 公開講座

“魂の唄”を熱唱

民謡の第一人者・伊藤多喜雄さん

文学部哲学科が主催する公開講座「パフォーミング・アーツと哲学」の第4回「魂の唄が聞こえる」が12月22日、生田キャンパスで開かれた。民謡の第一人者・伊藤多喜雄さんを迎え、学生や市民らが歌とトークを堪能した。

同講座は「見る」という知覚からのアプローチが多い哲学を「音」の踊りなどの異なった分野から捉え直そうという試みで14年にスタートした。

冒頭、伊吹克己教授が「哲学は難しいイメージがあるが、多様なアートの融合することで、哲学

を身近なものとして感じてもらいたい」とあいさつした。

伊藤さんは北海道出身で、従来の民謡の枠にとらわれず、独自の活動を続けている。当日は、パフォーミングの前に自身の生い立ちや民謡について語った。父親は手こぎの舟で漁を行い、中2まで電気のない暮らしだった。「北海道の大自然の中で、生きるために言葉をつぎ歌うこと、これが私自身の生きる哲学となった」と話した。また、全国各地の民謡について、声の出し方、間の取り方、掛け合いの違いを実際に歌ってみせた。

伊藤さんは津軽三味線と尺八とともに「最上川小唄」「津軽じょんがら節」などを披露。独自にアレンジした「ソーラン



奥村センター長(左)と長期交換留学生

節」のパフォーマンスで盛り上がった。最後に、「ここでできた縁に感謝したい」とオリジナル

曲「愛しき専修大学」を情感込めて歌い上げる。会場は拍手に包まれた。

20年度長期交換留学生に2人

2020年度長期交換留学生及び交換留学奨学金(第一期)に2人が決まった。1月21日、生田

キャンパスの国際交流会館で留学許可書交付式が行われ、奥村経世国際交流センター長から留学許可書が手渡された。

留学先と期間、氏名、(敬称略)

- 国立中山 大学(台湾) 2月▽21年
- 1月▽牛島 信太郎(法 3)
- リヨン政治学院(フランス) 1月▽21年 1月▽大勝爽之介(人間科学3)



- 81 -

ドイツ語

寺尾 格 経済学部教授

ドイツ語の課題の間違いを指摘すると、「すみません……」と謝る心優しい学生諸君は少なくありません。教える者の立場からすると、間違い自体は謝るべき筋合いのものではないでしょう。「間違えてナンボ！」だからです。「できる」ことを「練習する」必要はありませんよね?

ドイツ語でコーヒーはKaffeeで、「カフェー」と読み、最初の母音にアクセントが来ます。日本語の「カフェー」はCaféと書き、アクセントも最後の「フェー」です。フランス語では「コーヒー」も「喫茶店」も同じですが、ドイツ語では厳密に区別します。初心者はいがい間違えて、「コーヒーでコーヒーを飲む!」となって、直されます。

そもそも「コーヒー」はアラビア語の



「カワフ」あるいは原産のエチオピアの地名のようで、まことしやかな「神話」も数多くあります。最近、喫茶店の意味で、なぜかドイツ語のKaffeeを使うこともあるようですが、自家焙煎の「コーヒー豆」販売がメインの店であれば、かろうじてセーフなのかもしれません。

過ちて改めざる……

言葉の使い方「正しさ」は時代によって変化します。けれども何となく使う言葉の間違いを指摘するのは、大学という場ではとりわけ大事な仕事の一つではないでしょうか。アメリカで日本人の某紳士が何を飲むかと尋ねられて、「オー、アイ・アム・コーヒー!」。それから新しい講堂を建設する際に、「ご存命の方にもかわらわらず『***メモリアルホール』とつけそうになったとか。

(外国語教育研究室長)

短縮版。全文はCALL教室ホームページで。